

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	Y I Cビューティモード専門学校
設置者名	学校法人Y I C学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	10単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	Y I Cビューティモード専門学校
設置者名	学校法人Y I C学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上 <https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/> に公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
非常勤	学校法人龍馬学園 理事長	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	Y I C ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 美容師養成施設指定規則(1条～18条)を遵守の上、法定単位(67単位)以上の美容師養成施設必須課目、美容師養成施設選択課目を要し、当校では授業を講義・演習の2つの履修方法に分けている。 講義としては美容師養成施設必須課目(国家試験筆記科目)・美容師養成施設選択課目「一般教養課目」(美容師に特化したビューティビジネス実務検定、パーソナルカラリスト検定3級、ヘアケアマイスタープライマリー検定)の座学中心の科目を行い、演習としては、美容師養成施設必須課目の実習(国家試験実技科目を含む)・「専門教育課目」(ヘアデザイン・カラー・フォト・ヘアアレンジ・アイラッシュ・ブライダル・エステ・メイク総合基礎・総合実習・インターンシップ)といった実技を伴う科目で構成している。 専門技能を習得し、美容師国家資格取得を最大の目標とする。 また、年2回(前期末と後期末)の教育課程編成委員会において美容業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作成したシラバスを毎年3月上旬にホームページ上にて公表している。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習意欲について、出席率は本校校則内規、教科課目の1/3、実習を伴う教科課目にあっては1/5以上85%以下の場合、学習意欲に欠けるとみなし、補講を行う場合がある。試験は前、後期各1回実施（実習に関する評価は、課題の出来栄等考慮し、数値化する） また、校内、外コンテスト等の結果を取り組む姿勢、意欲の観点で評価する。校外学習、ボランティア等はレポート提出を求める。これらを総合的に評価し、単位認定とする。
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 以下のGPA制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GPはS・A・B・C・D評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定し、ホームページ上にて公表 卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしている者は、卒業判定会議を経て校長が卒業を認定する。 a. 美容学科においては、履修単位の合計が 67 単位以上であること。ただし、美容師養成施設必修課目 47 単位、美容師養成施設選択課目 20 単位以上であること。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	Y I C ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
財産目録	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	67 単位	21 単位	44 単位	2 単位	0 単位	0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		110 人	0 人	5 人	1 4 人	1 9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師養成施設指定規則（1 条～18 条）を遵守の上、授業計画及び法定単位（67 単位）以上の美容師養成施設必須科目、美容師養成施設選択科目を要し、美容師国家資格取得を最大の目標とし、専門技能習得を目指す。 取得内容、達成目標等は、ホームページにおいて全シラバスを参照すること。 また年 2 回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。

成績評価の基準・方法
(概要) G P A (グレード・ポイント・アベレージ) 制度について G P (グレード・ポイント) は、S, A, B, C, D 評価の各評価に対し、4, 3, 2, 1, 0 の順に付与する。 G P A (グレード・ポイント・アベレージ) は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。$G P A = \frac{\text{履修課目の単位数} \times G P}{\text{合計履修した課目の総単位数}}$ $G P A = (4 \times \text{「S」単位数} + 3 \times \text{「A」単位数} + 2 \times \text{「B」単位数} + 1 \times \text{「C」単位数} + 0 \times \text{「D」単位数}) \div \text{履修登録単位数}$ 学年 G P A 学年毎に算出される G P A をいう。 通算 G P A 在学中の全学期を通じて算出される G P A をいう。 学年 G P A や通算 G P A は、学内における評価や就職活動に使用することがある。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 ① 進級要件 年度末において次の要件すべて満たしている者は、進級判定会議を経て校長が進級を認定する。 a. 各学科の定める当該年次の教科課目のうち、必修課目、選択課目の単位を修得し、進級必要単位時間数（単位数）を修得している。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。 ② 卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべて満たしている者は、卒業判定会議を経て校長が卒業を認定する。 a. 美容学科においては、履修単位の合計が 67 単位以上であること。ただし、美容師養成施設必修課目 47 単位、美容師養成施設選択課目 20 単位以上であること。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。
学修支援等
(概要) クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生支援係がある。 費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね 1 時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度（毎月 3000 円支給）や、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね 1 時間 30 分以上かかる場合）にはひとり暮らしサポート制度（毎月 5000 円支給）がある。 ただし以下の学生がひとり暮らしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月 1 万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月 2 万円支給 学習面のサポートとして自習、復習利用時、ホームルーム教室、メイク実習室、シャンプー実習室、図書室等、平日 8：30～18：00 土曜日 8：30～13：00 まで開放。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	44人 (98%)	1人 (2%)
（主な就職、業界等） 美容室、美容業、エステティシャン、エステ業、アイリスト、ネイリスト、美容部員、ブライダル業、貸衣装業、写真館など			
（就職指導内容） 就職実務授業、企業説明会、各地相談会参加、面接指導・対策、実技試験対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格、日本ビューティビジネス実務検定、JMA メイクアップ 3 級・2 級検定、JNEC ネイリスト検定 3 級、JNA ジェルネイル検定初級、ヘアケアマイスタープライマリー検定、パーソナルカラリスト検定 3 級・2 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	4人	4%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者面談、キャリアサポート室キャリアカウンセラー面談等を行い、当事者の根幹の悩みの解決に努める		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
美容学科	150,000 円	690,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校評価委員会は、原則として年2回開催する。 学校経営改善に向けての努力点（＝自己評価項目）として、以下に示す10の大項目を設定し、さらに、各項目に対応する複数のチェック項目（記載-略）を設定した。教職員（学校）は、これらの実現・適正化に努め、その結果を検証し、一層の学校改善を進めるものとする。(PDCA) 1) 主な評価項目（全国専門学校教育研究会の評価項目による） (1) 教育理念・目的・育成人材像 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受け入れ募集 (8) 法令等の遵守 (9) 社会貢献・地域貢献 (10) 財務 <評価結果の活用方法（評価結果を踏まえた改善方法の実施時期及び責任者）> 評価結果については、副校長を責任者として検証会議を開き、重点的な課題として改善策を策定し、月毎に達成状況の点検を行いながら適正化を図る。 <点検項目の評価> 評価は（A：適切である B：概ね適切である C：やや適切である D：適切でない）の4段階で行う。

学校自己評価委員会で取りまとめた自己評価結果は関係資料とともに学校関係者評価委員会に提出し、学校評価（A～D 4 段階）を受ける。各評価項目に対する評価結果及び改善意見に基づき、次年度に向けて、学校運営・教育活動の内容・学生支援体制等を見直し、新たな学校改善計画を策定（～3 月末）・実施（4 月初-学校経営方針として定め、周知・徹底）する。 2）評価委員会の構成 委員の定数：5 名以上 委員の選出区分：企業 2 名、職能団体 1 名、高等学校 1 名、保護者 1 名、卒業生 1 名 なお、学校関係者評価は、理事会へ提出・承認後、ホームページにて公開するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社 ビューティサロンニュースタイル 代表取締役社長	2024 年 4 月～2026 年 3 月	企業関係者
株式会社 ライブス 代表取締役社長	2024 年 4 月～2026 年 3 月	企業関係者
有限会社 美髪 代表取締役社長 山口県美容業衛生同業組合 理事長	2024 年 4 月～2026 年 3 月	職能団体
学校法人山口高川学園 高川学園高等学校	2024 年 4 月～2026 年 3 月	高校関係者
保護者代表	2024 年 4 月～2026 年 3 月	美容学科学生保護者
卒業生代表	2024 年 4 月～2026 年 3 月	美容学科卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/
--